

求道第五卷 自第一號至第十二號總目錄

求 道

○眞諦の信仰を以て世諦を經營せよ(聖徳太子と親鸞聖人)	頁	一	(一)
○親鸞聖人の偉大なる所以(人格論)	五	(同)	
○信仰問題の急所	四	(二)	
一 信仰と實踐			
二 人信と相敬			
○絶對純一の信仰(一乘海と大信海)	八五	(三)	
○如來	一二五	(四)	
○本願	一六九	(五)	
○信樂	二〇九	(六)	
○念佛	二五三	(七)	
○人生唯如來を信ぜよ	二九三	(八)	
○如來を信ぜずしては人生何事も成るものなし	三三三	(九)	
○如來は無碍也	三七三	(十)	
○信仰即修養	三七六	(同)	
○如來の加威力	四一三	(十一)	
○歎異鈔と蓮如上人御一代聞書	四一六	(同)	
○如來の廻向	四五三	(十二)	
感 謝			
○年頭感恩○新春の頌讚	九	(一)	

(二)	○春秋九十年	四二三	(同)
	○一年の回顧	四五八	(十二)
	○歳末の感謝○感慨と感謝	四五九	(同)

講 話

○眞宗の教證	近角常觀	一一	(一)
○他力の眞味	同	四八	(二)
○善巧攝化	同	九二	(三)
○法王は唯一法也	同	一三一	(四)
○眞の佛弟子	同	一七二	(五)
○如來選擇の願心	同	二一六	(六)
○阿彌陀佛大願業力(持持鈔講義の一)同	二六一	(七)	
○光明名號の因縁(持持鈔講義の二)同	三〇三	(八)	
○人生の根本義	同	三四九	(九)
○如來の清淨願心	同	三八五	(十)
○願力成就	同	四二四	(十一)
○攝取の心光	同	四六〇	(十二)

聖

○チャイタカ釋尊傳(前卷ニ續ク)			
第四 富者チュルカラの話	二〇	(一)	
第五 耕の米	六三	(二)	
第六 眞の聖なる者	一〇〇	(三)	
第七 マカーデウハ	一四〇	(四)	
第八 幸福なる生涯	一四一	(同)	

○無常の覺悟○報謝の經營	一〇	(同)	
○我は日野左衛門也○漏聲の教訓	四四	(二)	
○水仙○聖人敵を愛したまふ消息	四五	(同)	
○聖人弟子を嚴誡したまふ消息	四六	(同)	
○曉天	四八	(同)	
○自然の淨土	八九	(三)	
○太子讚靈感	九〇	(同)	
○大聖の隆誕	一二八	(四)	
○夢殿	一二九	(同)	
○石見傳道○宿縁○神聖なる清會○眞摯の人	一二二	(六)	
○蟹の信仰○未見の友	一二三	(四)	
○惡人正機○頓入の信	一二四	(同)	
○告別	一二五	(同)	
○九州傳遊○一皆佛恩	二五八	(七)	
○四國傳道の往途	二五九	(同)	
○高松講習會○鹽飽島	三〇一	(八)	
○明石、神戸○極樂寺講習會	三〇二	(同)	
○曠原の觀想	三四五	(九)	
○小米國の野外の感謝	三四六	(同)	
○悉信施○梁川師を憶ふ	三四七	(同)	
○鳳笙鶴駕○舊友温情	三八一	(十)	
○山河と人機	三八二	(同)	
○藤崎○秋田○山形	三八三	(同)	
○若松○感恩感謝	三八四	(同)	
○晩秋の所懐○常照の光○御正忌	四二二	(十一)	

教 誨

○教誨自誠(前卷ニ續ク) 近角常觀
三 監獄は信仰の機縁熟すべき場所なり 五七 (二)

告 白

○信界美談	菅瀬芳英	二六	(一)
○踴躍歡喜	中村吾一	六五	(二)
○悲母の引接	美濃島與之助	七二	(同)
○獲信の動機	原直次郎	一〇三	(三)
○我は罪惡の凝塊也	中里庄五郎	一四三	(四)
○本誓重願空しからず	林英三	一八四	(五)
○故中村、長谷部兩候補生の遺簡	廣	二三八	(六)
○故吾一道兄の郷里を訪ねて有	田	二五〇	(同)
○愛兒の夭折と大悲の善巧	立石仙六	二七二	(七)
○智眼開しと悲む勿れ	小笹熊谷	三一五	(八)
○絶大なる佛力	武藤金吉	三五四	(九)
○安心上の苦心より入信	笠木輔一	三六〇	(同)
○唯佛のみ眞實也	後藤辨宏	四三七	(十一)
○曠劫多生の御手引き	碓井	四四一	(同)
○世諦の苦みによりて眞諦の光を見る	牧田平太郎	四七二	(十二)
○歡喜之記	長野貞一	四八一	(同)
○故長谷部候補生遺簡		四八二	(同)

講義

○歎異鈔(前卷ニ櫻ク) 近角常観……………一〇七(參)
 第五章……………一一〇(同)
 第六章……………一四五(四)
 第七章……………一九四(五)
 第八章……………一九六(同)
 第九章……………三二二(八)
 策十章……………四八五(十二)
 ○他力信仰の淵源……………近角常観……………二九五(八)
 一 佛教と念佛(上)……………三三七(九)
 一 同(下)……………四〇一(十)
 二 念佛と信仰……………四四五(十一)
 三 信仰と人生……………

雜錄

○信仰生活の味ひ……………近角常観……………一五二(四)
『信』の發現
 成功の熱中、『信』の浮足
 社会的交際
 信じて行ふ
 信仰の眞意職
 信仰に入る第一階梯
 人生は遊戯でない
 ○故中村候補生のキャンデー寺院參拜記……………二七八(七)

故中村長谷部兩候補生哀悼書簡

一……………二八一(同)
 二……………二八二(同)

慶歎

○予が實驗の信仰に就いて……………近角常観……………三九四(十)
 ○眞宗慶歎(前卷ニ櫻ク)……………近角常観……………
 八 一念横超……………三二二(一)
 九 醍醐妙味……………七四(二)
 十 無爲涅槃……………一五六(三)
 十一 往還回向……………一五九(四)
 十二 眞假佛土……………一九九(五)
 十三 善惡攝取……………二八二(七)

歎咏

○大悲本願(長詩)……………三井甲之……………三七(二)
 ○親ごころ(短歌)……………増田八風……………三八(同)
 ○冬三題(短歌)……………伊藤左千夫……………八〇(二)
 ○歸路(長詩)……………増田八風……………八二(同)
 ○信濃詞(長詩)……………伊藤左千夫……………一二三(三)
 ○母(短歌)……………増田八風……………一二三(同)
 ○涅槃(長詩)……………三井甲之……………一六四(四)
 ○酔けさ(長詩)……………同……………一六四(同)
 ○深夜筆を呵して(短歌)……………増田八風……………一六五(同)
 ○春光(長詩)……………三井甲之……………二〇六(五)

(四)

○一日なりとも(長詩)……………増田八風……………二〇六(同)
 ○勇士をとぶらふ(長詩)……………三井甲之……………二五一(六)
 ○中村長谷部二氏を吊す(短歌)……………増田八風……………二五一(同)
 ○再生(長詩)……………三井甲之……………二九〇(七)
 ○思ふともなく(長詩)……………増田八風……………二九〇(同)
 ○秋思(短歌)……………同……………三三〇(八)
 ○五月雨(短歌)……………同……………三三〇(同)
 ○秋となりぬ(長詩)……………三井甲之……………三六七(九)
 ○心のうごき(短歌)……………伊藤左千夫……………三六八(同)
 ○秋風雜吟(俳句)……………配……………三六八(同)
 ○秋の日(長詩)……………増田八風……………四〇九(十)
 ○秋の夕(長詩)……………三井甲之……………四〇九(同)
 ○デヴァスの曲(長詩)……………増田八風……………四一〇(同)
 ○やむひと(長詩)……………増田八風……………四五〇(十一)
 ○草津詠草(短歌)……………麻郷生……………四九〇(十二)

紹介

○佛説無量壽經阿彌陀經梵文和譯○梁川遺稿寸光錄○梁川遺稿書簡
 集……………四九〇(十二)
 ○エヒクアタスの教訓○釋迦牟尼傳)正信傳講話○香月院語錄……………四九一(同)
 ○雜誌『布教』……………四九二(同)

時報

○昨年の求道會……………三八(一)
 ○其後の求道學會○求道學會の報恩講……………四〇(同)
 ○一月中の求道會……………八二(二)

○羽村求道會○安中涅槃會○二月中の求道會……………一二四(三)
 ○春期傳道日割……………一六六(四)
 ○求道講話……………一六七(同)
 ○春期傳道概況……………二〇七(五)
 ○石見九州傳道○松本高田直江津傳道○求道
 學會第六回紀念日……………二五二(六)
 ○本年の夏期講習會○本年の夏期傳道……………二九一(七)
 ○其後の求道學會……………二九二(同)
 ○大日本佛教青年會夏期講習會○第二夏期傳道……………三三一(八)
 ○第三夏期傳道……………三三二(同)
 ○北海道傳道……………三六九(九)
 ○東北傳道……………四一一(十)
 ○求道の好時節○歸省、沼津……………四五一(十一)
 ○求道學會報恩講……………四九二(十二)

